

【メッセージ】「主の絶対目標を目指して走りましょう」ピリピ3:8-14

**序論** 主任牧師は韓国でみことばの御用をされています。ともにこの場でも主任牧師の働きのためにも祈りながらみことばを分かち合いたいと思います。

今回の RT 大会は15,000人が全世界から集まって絶対的な神様の目標を掴んで文化、時代、国家、各自の現場を生かすメッセージが伝えられて大きな挑戦を受けました。私たちのタラップの団体、福音宣教教会は世界宣教に向けての大きな時刻表に向けてこの場にいることを覚えていただきたいと思います。

未信者は遊びに行く人が多い中、この場にいる私たちは高価で貴い日本を生かす一人ひとりであることをみことばを通して確認していただきたいと思います

今日の私たちがいる状況—創世記3、6、11章

#### 1) 創世記3章の問題

- ①神のかたちを喪失、霊的に神から離れた。
- ②災い、呪い、災難
- ③サタンが全てを掌握しています。
- ④またクリスチャンでも未信者の6つの状態のように生きている

#### 2) 創世記6章の問題—物質や目に見える物にとらわれている霊的な問題 創6:12

##### ①先進国に現れる精神的疾患

- 例)キリスト教孤児院の淫乱と墮落の話
- 例)ロンドンのナイフでの殺傷事件—精神的な疾患による事件
- 例)ナチスドイツの思想にとらわれた青年の事件

##### ②自然災害の深刻化

- 世界の1%の面積に世界の20%の災いが起きる日本
- 例)東日本大震災
- 例)温暖化37度
- 例)首都直下型地震、富士山爆発、南海トラフ

##### ③罪にまみれた時代

「青年は永遠を忘れ鶏のごとく地上をあさり、乙女は真理を踏みつけ、豚よりも愚かで恥ずべきことをなしている テレビと端末に汚染され何が正しいかわからなくなっている時代、何が正しいのかわからない時代基準がない時代」

- 例)テレビ、ゲーム、淫乱、中毒

#### 3) 創世記11章の問題

- ①文化の掌握
- ②オリンピックの背景—テロ、貧困を隠すための壁、強制撤去など

### 本論

**1. 一心 ピリピ3:8** ただキリストだけだという事を発見すること—天命  
パウロの背景は生粋のユダヤ人、律法のラビ、ガマリルの門下生、学問都市たるソの出身、旧約聖書を全て知っていたが福音だけを知らなかった。サウロはダマスコの途上で何をみたのか？

未信者の状態の中でイエス様、キリストとであった。

- 1)使9:3-5 あなたが迫害しているイエスである。

- ①創3:15 女の子孫が蛇の頭を打ち砕く
- ②出3:18 かもい門に血をぬったキリストの契約
- ③イザヤ7:14 処女がみごもって男の子を生む インマヌエルと呼ばれる
- ④イザヤ53:5-6 何の望みもない私たちのために死なれた。
- ⑤ヨハネ3:16 独り子をお与えになったほどに私たちを愛された。
- ⑥マタイ16:16 主は生ける神の御子キリスト
- ⑦ヨハネ19:30 神から離れた問題、罪、サタンの問題を全て完了した  
クリスチャン生活の葛藤、苦しみ、痛みの中でパウロのであったキリスト、衝撃が私の衝撃となりますように、十字架、全てを完了されたキリストが潜在意識に刻印できますように。

#### 2) 捨てるべきもの

- ①創世記3、6、11章の未信者のころの体質
- ②ピリピ3:8 全てはちりあくたである

#### 3) 握り、味わうもの

- ①ピリピ1:9-10 人に対して、真にすぐれたものを見分けなければならない。
- ②使1:1、3、8 キリスト、神の国、聖霊の満ちし
- ③ピリピ3:20-21 汚い罪びとに天国の背景をくださった
- ④ピリピ4:6-7 思い煩いは必要がない、キリストのために生きること

### 2. 全心 — キリストに人生を懸ける価値を発見すること

- 1)使4:12 迫害、困難、苦しみの中での告白
- 2)使11:19-26 迫害の中で散らされて人々の伝道  
マタイ5:10 義のために迫害される者は幸いです。
- 3)使13:1-4 背景のない人が集まって初めて宣教師が派遣
- 4)使16:6-10 マケドニアから助けを求める声を聴いた
- 5)使19:21 ローマも見なければならない
- 6)使23:11 ローマでもあかしをしなければならない
- 6)使27:24 あなたは必ずカイザルの前に立ちます。

パウロはたった一つの目標、問題、艱難、苦難の中にあっても主に用いられる天命、召命、使命を知っていた。パウロに示したキリスト、神の国、聖霊充満、世界宣教のビジョン、0.3%しかいない日本の現場を見て、キリストと人生をかける価値、福音、宣教、伝道の霊的な目を見せてくださったことが驚くべき恵みです。

神の下さった目標を掴むときに一心に走ることができる。

ピリピ3:10 学業、仕事の中で問題、苦しみ、葛藤があればキリストに深くオールインしましょう。一心に向かって上に召してくださる神の栄冠を勝ち取るために神の願いである伝道のために産業、家庭、病に証を下さい。

- 7)使20:24 けれども、私が自分の走るべき行程を走り尽くし、主イエスから受けた、神の恵みの福音をあかしする任務を果たし終えることができるなら、私のいのちは少しも惜しいとは思いません

### 3. 持続 — 残りの者、残された者、散らされた者

主は持続することを願っている。

- 1)イザヤ6:13 私たち全てが生き残る主から召された者である。

2) 私たちはみことばの中にあつての3つの今日(みことば、祈り、伝道)

① 講壇みことばにあつての心と考への癒し

② 神の願いと神の国が心考へのフォーカスと基準となりますように

③ わたしたちの負の部分福音を証する力としてくださる。

パウロはそのことの証人である。

3) 私たちの仕事の理由、会社を興す理由も日本の1%の福音化のため

4) 使19:9-10 この町にはわたしの民がたくさんいるから

主任牧師に与えられた使命と情熱をもって、20年前に日本に来られ、私たちがその出会いを通して、個人、家庭、まわりの人々、国家が生かされるというビジョンと契約をもって礼拝に臨むことができた恵みに感謝をさげましょう。

【メッセージ】「キリストに従う聖徒の祝福」 マタイ4:18-22

**序論:** 御国イザヤ牧師は韓国の新しいいのち教会で講壇のメッセージをされておられる。先生の韓国での使役のために共に祈りながら御言葉を分かち合ひましょう。先週は「神の国の諭」のメッセージでした。いばらの地のように富の惑わしなどで信仰の成長が騙されることがあります。→目の前の利益にだまされず、自分を捨て主に従う信仰を持ちましょう。

## 1. 弟子に対する問題

1) マタイ 4:22

: 仕事と家族を捨てるという問題

2) マタイ 12:1

経済・生活の問題

: イエスについていくことは、決して豊かとはいえないような生活だった。時には空腹となり、食べる物にも困る時があった。

3) マタイ 26:73-74

: 逮捕されたイエス様の仲間だと言われてイエス様を否定してしまう。ペテロは恐れを持つようになった。

4) マタイ 10:22

迫害: イエスが十字架にかけられ、天に昇り、弟子たちが福音を宣べ伝えていく中で様々な迫害。

—このようにイエスに従っていくことは様々な困難もあったがイエス様に従っていくためには、キリストの十字架の信仰と自分の十字架をおって神様の御言葉に従っていくことが必要である。

## 2. キリストの十字架と従順

1) マタイ 4:19

: イエス様は、ご自身に従う道には困難があることもご存じだが、それでも、ついて来なさいと言われた。人間をとる漁師(伝道者)としてくださると言われた。

—イエス様についていった弟子たちの目が開け、シモンペテロは、マタイ 16:16 告白(真の預言者、大祭司、真の王)→私たちはガラ 2:20 の信仰を持ち、自分の自我などを十字架につけていくべきである。

2) マタイ 16:24-25

: イエスにつき従う者は(主の御言葉に従うこと)、自分を捨て、自分の十字架を背負いイエスに従うこと(自分自身の自我、プライド、欲などの、自分の握っているものは十字架につける)

3) マタイ 10:38-39

: 自分の命を自分のものとした者はそれを失い、キリストのために自分の命を失った者はそれを自分のものとするといっている。自分の自我や欲などを優先にしているか主の御言葉を優先にしているか確認をして、主の御言葉を選択できるように。

(証) 大学生頃のビジョン—政治家(日本福音化、世界福音化と言いつつも、実は名誉心という私の動機で心は平安でなかった)2011年、東大震災のとき、ヨハネ 12:24 の御言葉を掴み、自分が死ぬと多くの実を結ぶということで神学校に行くことを決心。今は教会と福祉施設に仕えているが、自分自身の名誉心という動機を捨てて主に従っている今は多くの恵みと祝福を味わっている。

## 3. キリストに従う祝福

1) マルコ 10:29-30 (100 倍の報い)

: 福音のために、自分の握っているものを放し主に従う時に 100 倍の報い

2) マタイ 6:33-34 (生活の保障)

: 食べる物、着る物のことで心配する必要はない。経済の面にも全て主が責任をとってくださる

3) マタイ 5:11-12 (迫害—報いは大きい)

: 迫害は祝福である、弟子たちのように福音、伝道のために迫害を受けることがあれば天での報いは非常に大きい

4) 使徒 1:8 (聖霊の満たし—証人)

: イエス様に最後まで従っていった弟子たちに、オリブの山で聖霊が下る約束を下された。神様は、約束の通り、マルコの屋上の部屋で、弟子たちに聖霊の満たしを与えて下された。そして弟子たちを通して、15 か国の人々が救われ、3000 人もの人々が弟子になるようになった。

5) 使徒 3:6 (伝道、癒し)

: イエス様に従っていたペテロを通して「美しの門」で足の不自由な男が、癒され、生かされるような御業があった。その後、男だけで 5000 人の人々がイエス様を信じるようになった。

—イエス様は、ペテロたちに、「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」と約束をしてくださった。自分の十字架を負ってついてきた弟子たちは、御言葉の通り、多くの人に伝道をすることが出来、人間をとる漁師として下された。

## 結論

1. イエス様に従う信仰を持つ

2. 自分の自我、プライド、欲、などの握っているものをキリストと共に十字架につけ、神の御言葉に従う。

3. イエス様に従い、聖霊に満たされる中で伝道の祝福がなされ、人間をとる漁師として用いられるように。